

令和3年度「高校生等防災教育基礎講座」実施状況

1. 実施概要

令和3年度は、県立高等学校2校、私立高等学校1校、特別支援学校1校の計4校で、実施しました。

内容は、防災に関する講演（講師派遣）を基本とし、加えて模擬体験を実施しました。



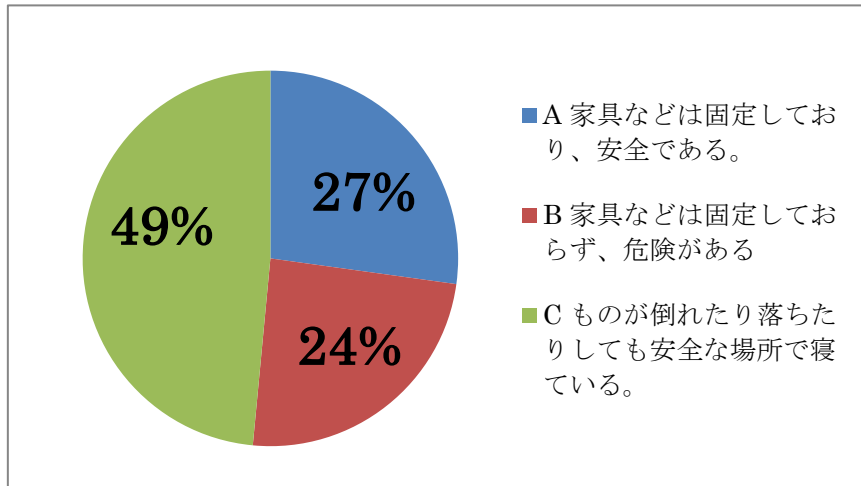
【実施校】

No.	実施日時	実施校・生徒数	演題・講師
1	10月28日(木) 17:45～19:20	県立東金高等学校定時制 39名 (全学年)	「あなたにできること ～災害時の避難と暮らしに備える～」 減災・福祉パートナーズ 蓮本浩介氏 ※起震車体験・煙体験を実施
2	11月2日(火) 13:30～15:10	私立西武台千葉高等学校 1062名 (全学年※中等部含む)	「後悔しない防災」 千葉科学大学教授 藤本 一雄氏
3	12月20日(月) 9:00～10:00	県立千葉西高等学校 876名 (全学年)	「災害から身を守るための日頃からの取組・心得」 地震防災アドバイザー 川端 信正氏
4	12月21日(火) 10:00～11:30	県立千葉特別支援学校 117名 (高等部)	「災害から身を守るための日頃からの取組・心得」 地震防災アドバイザー 川端 信正氏 ※起震車体験を実施

2. アンケート結果

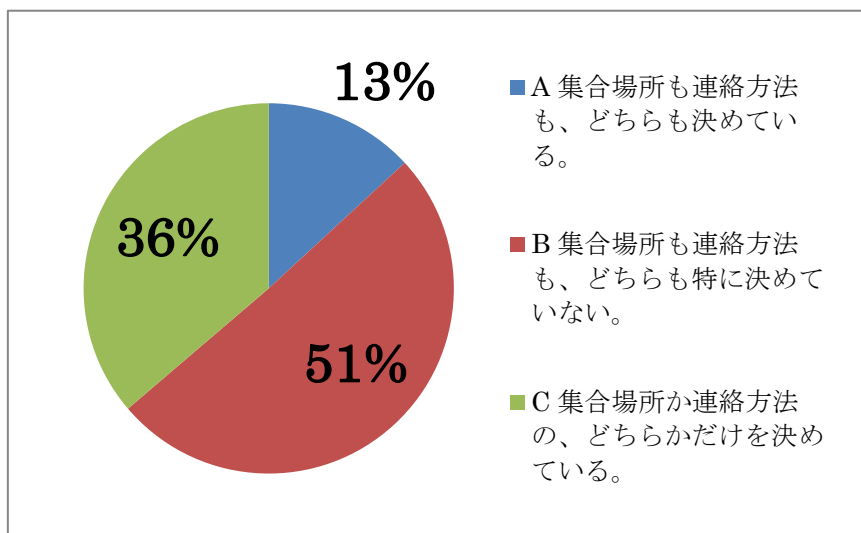
「高校生等防災教育基礎講座」の参加者に対して、日常からの防災対策及び東日本大震災後の災害に対する意識を問うアンケートを実施しました

- (1) あなたの家庭では、寝ている時に地震が起こった場合、体の上にもものが倒れてきたり落ちてきたりする危険はありますか？



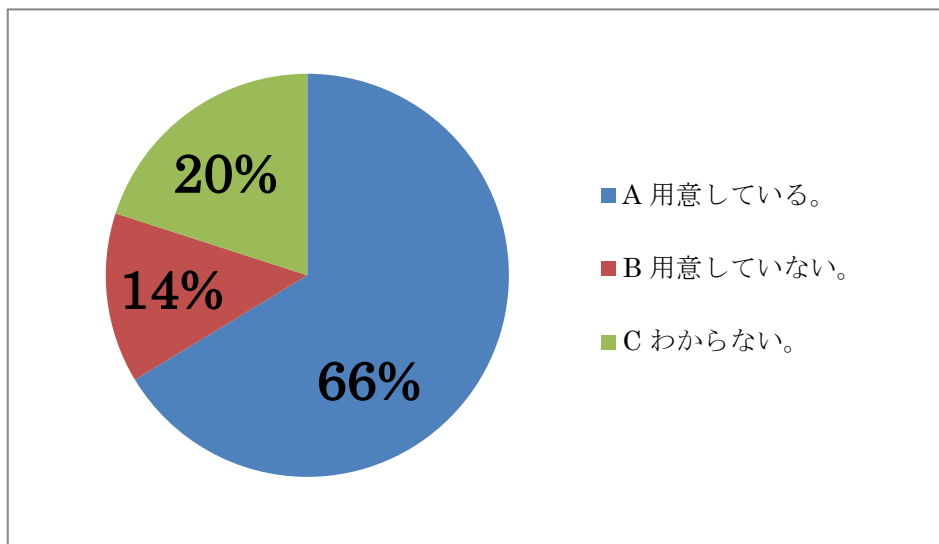
- (2) 東日本大震災の起きた当日は、各交通機関が止まり、遠くから通学している人は帰宅が困難になりました。また、電話も通話が集中し、つながらなくなりました。

家族と離れている時に災害が起きた場合、集合場所や連絡方法を決めていますか？

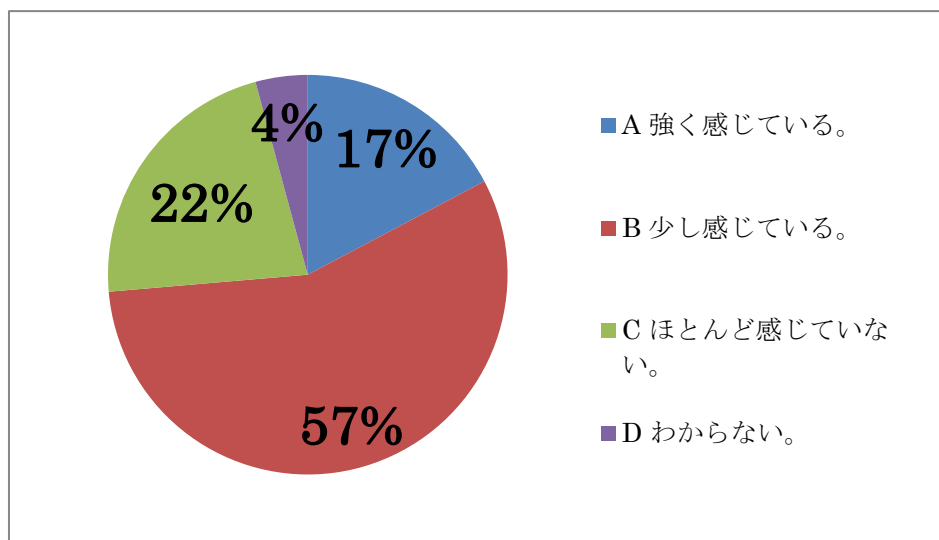


(3) 東日本大震災のように、大災害時にあなたの家庭が被災するのと同様に、自治体なども被災し、すぐには公的機関からの救援が望めない場合があります。

あなたの家庭では、災害に備えて水や食料などの非常品を用意していますか？



(4) 近年、大地震や記録的な大雨・台風による被害が多発しています。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかと不安を感じていますか



(5) 本日の講座についての感想を書いてください。(主な回答)。

- ・家具等の転倒が心配。家にある家具の固定をしたいと思った。
- ・大地震がくる覚悟が必要だ。災害時にどのような行動をとるべきかを学んだ。
- ・昔地震を経験していたのに、地震の怖さを忘れていた。備えや集合場所を決めておきたい。
- ・情報を活用し、得られることを把握していきたい。
- ・命を守れた後の対策をどうしても優先していたので、命を守る方法も考えていきたい。
- ・大学の教授からの視点で話す災害の話は新鮮だった。
- ・後悔しないためには自分自身と大切な人を守ることが大切だと感じた。
- ・今回先生の話聞いて感じたことは、大切な人を失う恐怖は計り知れないということ。
- ・体験談をもとにした話が多かったため、より身近に感じる事ができた。
- ・自分の住んでいる市の災害情報をより詳しく知ることができた。
- ・家に帰ったら家族と防災ハザードマップ等について話そうと思った。
- ・講座を聞いてもっと家族で話し合わなければいけないなと感じた。災害時の集合場所や連絡方法は決まっていないので、そのような場面の時にすごく混乱してしまうと思った。
- ・津波に流されたときの死因は溺死が多いのではなく、瓦礫などにぶつかって亡くなる人が多いのを知ってより怖く感じた。公衆電話が災害時に無料になることを初めて知った。
- ・急に地震が起きたらパニックになってしまうかもしれないけれど、今日の講義のおかげで地震の時に何をすべきかが明白になってとても為になった。
- ・思っていたよりも地震・津波が身近にあって怖いけれど、避けることは出来ないから自分の出来ることをしてまずは自分の命を守ろうと思った。
- ・過去の大地震の説明を聞いてより地震に対する注意度が高まった。学校も家も東京湾から近く津波がくる可能性があるので知識をもっと増やしたいと思った。
- ・自分の住んでいるところの近くにある市役所や、最寄り駅も海拔はそんなに高くないということがわかったので、津波が起きた時にできるだけ高いところに逃げられるように自分の住んでいる地域の周りの海拔をよく調べておこうと思った。
- ・地震が最近多くて、いつ大地震が来ても大丈夫なように備えたいと思った
- ・改めて地震のことを考えて、避難対策をしっかりとしなないといけないと思うことが出来た。これを気に以前よりも対策したいと思う。
- ・水深があまりなくても、かかる力が結構あって驚きました。高いところや避難場所を普段から確認しておこうと思いました。
- ・避難時の靴やトイレの対策など実際に被害にあった時の対策がたくさん知れてよかったです
- ・非常食などは常に備えていたがそれだけでは不十分であるということが改めてわかった。津波についても自分の住んでいる地域の被害がわかった。